

(証券コード 9385) ショーエイコーポレーション

2022年3月期 第2四半期

決算発表補足資料

2021年11月12日

目次

収益認識に関する会計基準等の適用について	P. 3
株式会社ファインケメティックスの子会社化について	P. 4
2022年3月期 第2四半期の業績	P. 5
株式会社ファインケメティックスの会社概要	P.15
2022年3月期の見通し	P.22

収益認識に関する会計基準等の適用について

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、代理人取引に係る収益認識であります。顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が代理人に該当する取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

当第2四半期連結累計期間の影響は以下のとおりであります。

- ・売上高は 466百万円減少
- ・売上原価は 464百万円減少
- ・営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は個々 2百万円減少

以下、参考として同基準を適用しなかった場合の数値を併記し、比較しております。

株式会社ファインケメティックスの子会社化について

当社グループはさる8月26日付で株式会社ファインケメティックス(以下、「ファインケメティックス社」という。)の株式を取得し、子会社化いたしました。

同社を子会社化した理由は、以下のとおりであります。

当社グループは現在、化粧品及び医薬部外品のOEM事業への事業展開を進めており、理美容消耗品関連商材の販売(理美容事業)等を展開しているジェイ・エスコムホールディングス株式会社(以下、「JEHD社」という。)との業務提携を進めるにおいて、同社の関連会社であるファインケメティックス社を買収するに至りました。

ファインケメティックス社は創業64年の実績を持つ、化粧品・医薬部外品のOEM製造会社であり、高品質で高価格な製品をヘアサロン向けに製造販売するなどプロマーケット向けの商品開発、製造では定評のある会社であります。

今回の子会社化によって、ファインケメティックス社の持つ研究開発能力、品質管理能力、生産能力、そして同社の持つネットワーク力がグループに加味され、化粧品及び医薬部外品のOEM事業の展開が強固になり、当社グループのメーカーへの転身の実現スピードが増し、更なる企業価値の向上が実現できると判断した次第であります。

ファインケメティックス社の決算については、当2QではBSを連結決算とし、PLでは3Qより連結決算となります。

ファインケメティックス社の会社概要につきましては、15ページ以降に記載しておりますので、是非ご覧ください。

2022年3月期第2四半期の業績



2022年3月期 第2四半期(連結)

前期比	2022年3月期 第2四半期実績						2021年3月期 第2四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	不適用の場合 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	9,214	100.0	90.5	9,681	100.0	95.1	10,183	100.0
売上原価	7,216	78.3	90.2	7,680	79.3	96.0	8,001	78.6
売上総利益	1,998	21.7	91.6	2,000	20.7	91.7	2,182	21.4
販売管理費	1,724	18.7	110.5	1,724	17.8	110.5	1,560	15.3
営業利益	274	3.0	44.1	276	2.9	44.5	621	6.1
経常利益	231	2.5	38.2	233	2.4	38.6	605	5.9
親会社株主に 帰属する当期純利益	160	1.7	38.6	162	1.7	39.2	414	4.1
1株当たり 当期純利益金額(円)	20.73	-	-	21.02	-	-	66.47	-

- ・売上高は収益認識の会計基準の適用により466百万円減少し、9,214百万円（前年同期比9.5%減）となった。
- ・販管費・営業外費用として1Qに不適切取引及びM&Aに関わる費用を計上している。

2022年3月期 第2四半期の進捗状況(連結)

売上高

通期予想
20,086百万円

2Q実績
9,214百万円



2Q
進捗率

45.9%
(前期49.7%)

営業利益

通期予想
1,000百万円

2Q実績
274百万円



2Q
進捗率

27.4%
(前期51.1%)

経常利益

通期予想
912百万円

2Q実績
231百万円



2Q
進捗率

25.3%
(前期56.5%)

親会社株主に帰属する
2Q純利益

通期予想
604百万円

2Q実績
160百万円



2Q
進捗率

26.5%
(前期61.4%)

- ・ 営業促進支援事業の収益の遅れが売上の進捗に影響している。
- ・ 1Qに販管費・営業外費用として不適切取引及びM&Aに関わる費用が計上されており、利益の進捗が遅れている。

セグメント別 2022年3月期の業績 第2四半期

	2022年3月期 第2四半期実績						2021年3月期 第2四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	不適用の場合 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	9,214	100.0	90.5	9,681	100.0	95.1	10,183	100.0
営業促進支援事業	4,178	47.8	77.1	4,642	48.0	85.6	5,420	53.2
商品販売事業	5,032	52.0	105.7	5,034	52.0	105.8	4,760	46.7
その他の事業	12	0.2	0.0	12	0.0	100.0	12	0.1
セグメント間の 内部売上高	▲8	-	-	▲-8	-	-	3	-

- ・ コロナ禍が続く中で、消費動向にも変化が生じている。
- ・ 取引先企業の取り組みもコロナ禍の情勢を見ながらの試行錯誤の対応が続いている。
- ・ 大口取引先の停滞、大口案件の受注の先送りも生じている。

セグメント別 2022年3月期第2四半期の売上高進捗状況

営業促進支援事業

通期予想
9,607百万円

2Q実績
4,178百万円



2Q
進捗率

43.5%
(前期50.9%)

商品販売事業

通期予想
10,454百万円

2Q実績
5,032百万円



2Q
進捗率

48.1%
(前期48.2%)

- ・ 営業促進支援事業は、コロナ禍の中、大口取引先の停滞、大口案件の受注の先送りが生じた。
- ・ 商品販売事業は、テレワーク、GIGAスクール構想等によって生活形態に変化が生じ、売れ筋商品も変化しつつある。

※百万円未満切り捨て

※各事業の売上高にはセグメント間の内部売上高を含んでおります

営業促進支援事業 2022年3月期 第2四半期の業績

	2022年3月期 第2四半期実績						2021年3月期 第2四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	不適用の場合 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	4,178	100.0	77.1	4,642	100.0	85.6	5,420	100.0
販売促進	2,408	57.6	85.9	2,427	52.3	86.6	2,802	51.7
O E M	739	17.7	66.9	740	15.9	66.9	1,106	20.4
発送代行	1,029	24.7	68.1	1,474	31.8	97.5	1,512	27.9
売上総利益	890	21.3	85.8	890	19.2	85.8	1,037	19.1
セグメント利益	296	7.1	56.8	296	6.4	56.8	522	9.6

- ・ 販売促進は、感染拡大が続く中、社会経済活動の停滞を背景とした厳しい状況下にあった。
- ・ O E Mは、利益率の高い大口の受注案件の新商品投入が延期された。
- ・ 発送代行は、収益認識基準の適用もあり売上は減少した。

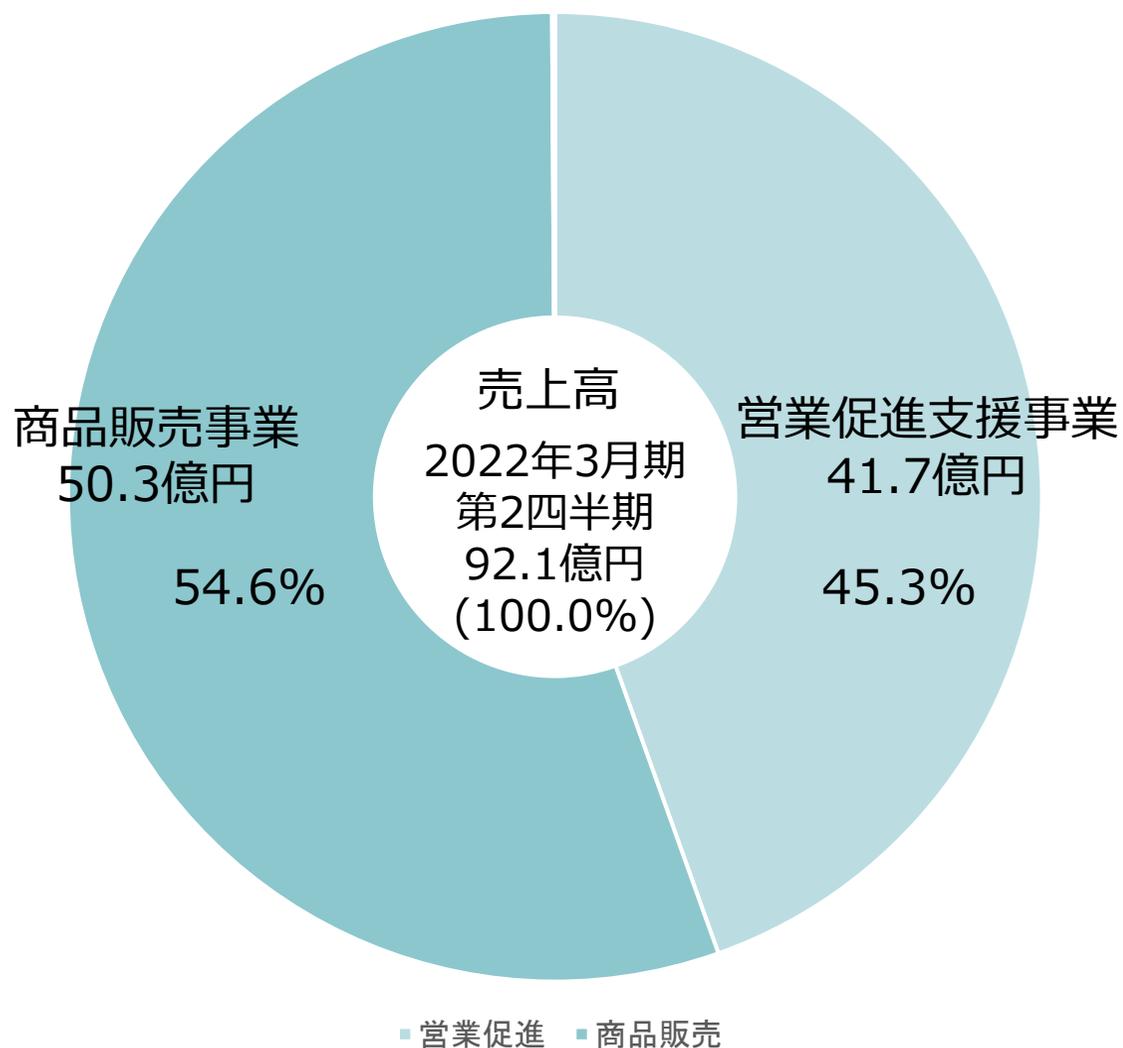
※百万円未満切り捨て

商品販売事業 2022年3月期 第2四半期の業績

	2022年3月期 第2四半期実績			2021年3月期 第2四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	5,032	100.0	105.7	4,760	100.0
100円ショップ向け売上	3,774	75.0	102.8	3,673	77.2
量販店向け売上	737	14.6	149.5	493	10.4
その他売上	520	10.4	87.7	594	12.5
売上総利益	1,099	21.8	96.7	1,136	23.9
セグメント利益	251	5.0	70.8	355	7.5

- ・ 100円ショップ向けはポリ製品を中心とした消耗品、キッチン周りの新商品、電子機器周辺商品等が増加した。
- ・ 量販店向けは、新規開拓による取引先の増加と、それに伴いポリ商品および紙商品等が増加した。

(ご参考) 売上構成比 2022年3月期 第2四半期

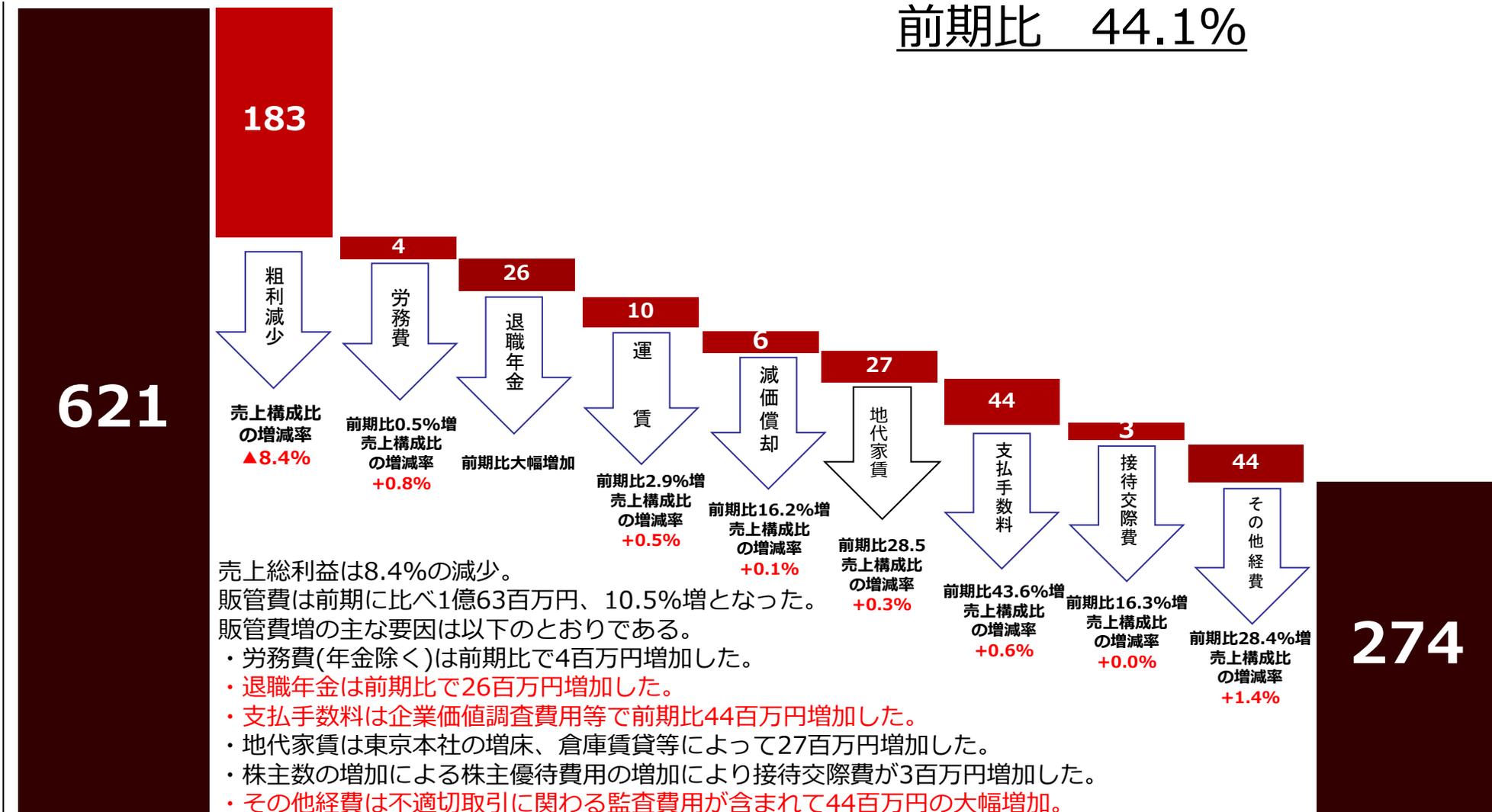


	実績(百万円)	売上構成比
売上高	9,214	100.0
営業促進支援事業	4,178	45.3
販売促進	2,408	26.1
OEM	739	8.0
発送代行	1,029	11.2
商品販売事業	5,032	54.6
100円ショップ向け売上	3,774	41.0
量販店向け売上	737	8.0
その他売上	520	5.7
その他の事業	12	0.1

営業利益増減の要因

(百万円)

前期比 44.1%



2021年3月期2Q

2022年3月期2Q

財政状態(貸借対照表主要科目) (連結)

	2021年3月期末		2022年3月期 第2四半期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
(流動資産)	7,402	72.0	7,761	65.4	358	104.9
現金及び預金	943	9.2	742	6.3	▲201	78.7
受取手形及び売掛金	2,847	27.7	3,218	27.1	371	113.1
たな卸資産	2,592	25.2	2,968	25.0	376	114.5
その他流動資産	1,020	9.9	832	7.0	▲187	81.6
(固定資産)	2,885	28.0	4,100	34.6	1,215	142.1
(繰延資産)	-	-	-	-	-	-
資産合計	10,287	100.0	11,862	100.0	1,574	115.3
(流動負債)	5,030	48.9	6,424	54.2	1,394	127.7
(固定負債)	524	5.1	558	4.7	33	106.5
負債合計	5,554	54.0	6,983	58.9	1,429	125.7
純資産合計	4,733	46.0	4,879	41.1	146	103.8
負債純資産合計	10,287	100.0	11,862	100.0	1,574	115.3

※百万円未満切り捨て

株式会社ファインケメティックスについて



(ファインケメティックス) 会社概要

(1)	名 称	株式会社ファインケメティックス
(2)	所 在 地	東京都中央区日本橋堀留町2-3-14 堀留 THビル5階
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 高橋 一郎
(4)	事 業 内 容	医薬部外品及び化粧品の受託製造、製造販売、輸出入事業
(5)	資 本 金	54,000千円
(6)	設 立 年 月 日	1957年3月
(7)	従 業 員	130名(2021年11月現在)
(8)	事 業 所	本社・成田工場・茨城倉庫
(9)	主要取扱品目	頭髪用化粧品・染毛剤(65%)、皮膚用化粧品・ボディ用化粧品(25%)、その他製品(10%)
(10)	主要得意先	(株)アジュバンコスメジャパン、(株)メロスコスメティックス、コスメカンパニー(株) 他
(11)	主要仕入先	日光ケミカルズ(株)、佐々木化学(株)、カネダ(株) 他

(ファインケメティックス) 特徴

<内部環境>

- ・創業以来一貫して化粧品OEM製造を行っており、調合ノウハウ・レシピが蓄積されている。
- ・過去来からのOEM製造の経験により、調合レシピは相応に蓄積しており、調合対応幅は広い。
- ・化粧品会社ニーズに応える形での営業・開発がメイン。
- ・プロマーケット向けの商品開発、製造が得意。
- ・高品質で高価格な製品を、ヘアサロン向けに製造販売を行っている。
- ・工場稼働率は60%。
- ・多品種小ロットの生産にも対応可能。
- ・ヘアケア・スキンケアの処方数千種類保有。蓄積されたノウハウを基に、顧客が求める商品を製造。
- ・利益率の低いものは受注しないなど、徹底したコスト管理と選別受注による利益の最大化を図っている。

<外部環境>

- ・化粧品市場全体は過去来より継続的に拡大しており、コロナ禍において一時的に減少したものの、ヘアケア・スキンケア製品を中心に消費者の関心が高い状態が継続している。
- ・上記のニーズは、業務用化粧品においても底堅く、安定的に推移している。
- ・化粧品受託製造の市場規模は化粧品市場全体を超える年間5%程度の伸びを記録している。
- ・化粧品市場においてOEMによる製造比率が拡大している。

(ファインケメティックス) 製品企画から開発、製造、品質管理までの一貫体制

- ✓ 製品企画
- ✓ ブランドイメージ構築
- ✓ ボトル、パッケージデザイン



- ✓ 原材料の管理
- ✓ 製造工程の管理
- ✓ 製品の管理

製品企画

製品開発

-OEM-
化粧品・医薬部外品の
受託製造

品質管理

生産

- ✓ 処方開発・製品性能評価
- ✓ 商標・特許の調査
- ✓ 薬事業務・輸入代行業務



- ✓ バルク製造
- ✓ ボトル充填
- ✓ 包装仕上げ

(ファインケメティックス) 工場内の設備 ～ 多品種少量生産にも対応



□ 真空乳化装置

□ 充填ライン

□ ビロー包装機

・ 製造釜

主な仕込設備： 2t 開放乳化釜 / 3基
450L 開放乳化釜 / 1基
250L 真空乳化釜 / 1基
50L 真空乳化釜 / 1基
ローション混合釜
粉体混合釜

・ 生産ライン

汎用ライン / 6ライン
チューブ / 2ライン
スキンケア / 2ライン
シュリンク(ビロー包装)ライン

※ラインあたりの生産能力：3,000～6,000本 (製品仕様により上下)

製造製品

容量：1ml～20L
粘度：10mPa・s～100,000mPa・s
容器：ボトル(キャップ、ポンプ、ディスペンサー)、パウチ(キャップ付、シームタイプ)、チューブ(30g～240g、30Φ～50Φ)、ジャータイプ

No	許認可等名
1	医薬部外品製造業許可証
2	化粧品製造業許可証
3	医薬部外品製造販売業許可証
4	化粧品製造販売業許可証
5	ISO9001登録証
6	ISO14001登録証



(ファインケメティックス) 財務状況

(BS)

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
流動資産	983	79.7%	792	66.3%	748	64.6%	843	68.0%
固定資産	250	20.3%	402	33.7%	409	35.4%	397	32.0%
資産の部	1,233	100.0%	1,194	100.0%	1,157	100.0%	1,240	100.0%
流動負債	305	24.7%	346	29.0%	413	35.7%	393	31.7%
固定負債	673	54.6%	608	50.9%	463	40.0%	549	44.3%
負債合計	978	79.3%	954	79.9%	876	75.7%	943	76.0%
純資産の部	256	20.8%	240	20.1%	280	24.2%	298	24.0%
負債・純資産合計	1,233	100.0%	1,194	100.0%	1,157	100.0%	1,240	100.0%

(PL)

	2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期(予)		2023年3月期(予)	
売上高	1,858	100.0%	1,882	100.0%	2,131	100.0%	2,212	100.0%	2,533	100.0%	2,733	100.0%
売上総利益	487	26.2%	472	25.1%	436	20.5%	476	21.5%	588	23.2%	633	23.2%
販管費	516	27.8%	415	22.1%	385	18.1%	404	18.3%	290	11.4%	304	11.1%
営業利益	△ 29	-1.6%	56	3.0%	50	2.3%	71	3.2%	298	11.8%	329	12.0%

※(予)はファインケメティックス社により買収時に提出された事業計画値である。

2022年3月期の見通し



2022年3月期 業績予想 (連結)

	2022年3月期業績予想			2021年3月期実績		増減		2022年3月期予想※	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	20,086	100.0	97.9	20,507	100.0	▲ 421	▲ 2.1	21,178	100.0
売上原価	15,636	77.9	97.5	16,044	78.2	▲ 407	▲ 2.5	16,728	79.0
売上総利益	4,449	22.2	99.7	4,463	21.8	▲ 14	▲ 0.3	4,449	21.0
販売管理費	3,448	17.2	106.2	3,247	15.8	202	6.2	3,448	16.3
営業利益	1,000	5.0	82.3	1,215	5.9	▲ 215	▲ 17.7	1,000	4.7
経常利益	912	4.5	85.2	1,071	5.2	▲ 159	▲ 14.8	912	4.3
親会社株主に帰属 する当期純利益	604	3.0	89.6	675	3.3	▲ 70	▲ 10.4	604	2.9
1株当たり 当期純利益(円)	78.25	-	-	100.55	-	-	-	78.25	-

※収益認識に関する会計基準等を適用しなかった場合

セグメント別 2022年3月期業績予想

	2022年3月期業績予想			2021年3月期実績		増減		2022年3月期予想※	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	20,086	100.0	98.0	20,507	100.0	21,178	100.0	21,178	100.0
営業促進支援事業	9,607	47.8	90.2	10,650	51.9	16,728	79.0	10,699	50.5
商品販売事業	10,454	52.1	106.0	9,867	48.1	4,449	21.0	10,454	49.4
その他の事業	24	0.1	100.0	24	0.1	3,448	16.3	24	0.1
セグメント間の内部売上高	▲ 0	▲0.0	-	▲ 34	▲0.1	1,000	4.7	0	▲0.0

※収益認識に関する会計基準等を適用しなかった場合

(ご参考) 四半期の業績推移(22年3月期 2Qは実績、3Q以降は予想。)

	2021年3月期 1Q		2021年3月期 2Q		2021年3月期 3Q		2021年3月期 4Q		2022年3月期 1Q(実)		2022年3月期 2Q(実)		2022年3月期 3Q(予)		2022年3月期 4Q(予)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	4,903	100.0	10,183	100.0	15,486	100.0	20,507	100.0	4,623	100.0	9,214	100.0	14,858	100.0	20,086	100.0
売上原価	3,874	79.0	8,001	78.6	12,062	77.9	16,044	78.2	3,583	77.5	7,216	78.3	11,592	78.0	15,636	77.8
売上総利益	1,029	21.0	2,182	21.4	3,425	22.1	4,463	21.8	1,040	22.5	1,998	21.7	3,265	22.0	4,449	22.2
販売管理費	769	15.7	1,561	15.3	2,411	15.6	3,247	15.8	910	19.7	1,724	18.7	2,631	17.7	3,448	17.2
営業利益	260	5.3	621	6.1	1,014	6.5	1,215	5.9	130	2.8	274	3.0	634	4.3	1,000	5.0
経常利益	267	5.5	605	5.9	989	6.4	1,071	5.2	45	1.0	231	2.5	551	3.7	912	4.5
親会社株主に帰属する当期純利益	179	3.7	414	4.1	666	4.3	675	3.3	24	0.5	160	1.7	370	2.5	604	3.0

<ご案内>

- ・本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での当社の判断であります。市場環境等の様々な要因により、実際の業績はこれら見解、見通し、ならびに予測等と大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。
- ・当社では、株価に影響を及ぼす情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算期日の2週間前から決算発表日までの一定期間を沈黙期間としています。この期間は決算に関するコメントや質問に対する回答は控えさせていただきますのでご了承下さい。ただし、同期間中に業績予想が大きく変動する見込みが生じた場合には、適宜、情報開示を行います。

株式会社 ショーエイコーポレーション

お問合せ先：IR広報室

T E L : 06-6233-2636 F A X : 06-6233-2615

ホームページURL : <http://www.shoei-corp.co.jp/>